



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年11月5日

上場会社名 コタ株式会社 上場取引所 東証第一部
 コード番号 4923 URL http://www.cota.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小田 博英
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画部長 (氏名)山崎 正哉 TEL (0774) 44-4923
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績 (2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,019	△5.0	329	△24.9	340	△24.3	234	△25.2
2020年3月期第2四半期	3,177	17.4	437	47.3	449	57.3	313	51.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	11.93	—
2020年3月期第2四半期	15.94	—

(注) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	9,594	7,650	79.7
2020年3月期	10,356	7,744	74.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 7,650百万円 2020年3月期 7,744百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,650	2.5	1,235	△16.0	1,256	△15.8	855	△17.4	43.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	22,494,819株	2020年3月期	22,494,819株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	2,804,313株	2020年3月期	2,798,791株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	19,692,166株	2020年3月期2Q	19,698,833株

(注) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、多くの企業が事業活動の制限を強いられ、景気は急速に悪化しました。緊急事態宣言解除後は、国内の経済活動に回復の兆しがみられるものの感染再拡大の懸念もあり、厳しい状況となっております。

美容業界におきましては、来店客数の減少や客単価の伸び悩み等、依然として美容室にとって厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社におきましては「美容室とともに女性を髪から美しくする」というコーポレート・スローガンのもと、美容室でのカウンセリングを通じて、来店客に対して付加価値の高いヘアケア提案を行いました。特に、ヘアケアの基本であるシャンプー及びトリートメントについては、「女性は髪からもっと美しくなれる」という考えに基づき、主力ブランドである「コタ アイ ケア」の美容室での販売を推進し、多くの『女性のキレイ』を髪から応援してまいりました。また、創業精神である「美容業界の近代化」をベースに、独自のビジネスモデルである「旬報店システムを軸としたコンサルティング・セールス」と「トイレットリーの販売を中心とした店販戦略」を引き続き展開し、美容室の業績向上に向けた提案や経営に関する支援を行いました。

売上高につきましては、コロナ禍においても店販戦略の主力である「コタ アイ ケア」の販売は堅調であったものの、昨年5月に新製品「コタトリート プレミーク」を発売した影響や、昨年10月の消費増税に伴う駆け込み需要等の特殊事情があったことから、前年同四半期を下回りました。

また、売上原価につきましては、引き続き原価管理の見直し等を行っていることから、売上原価率は前年同四半期を下回りました。販売費及び一般管理費につきましては、人件費は増加したものの、営業活動の自粛により営業関連費用が減少したことから、前年同四半期と比べ、ほぼ横ばいとなりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は3,019百万円(前年同四半期比5.0%減)、営業利益は329百万円(前年同四半期比24.9%減)、経常利益は340百万円(前年同四半期比24.3%減)、四半期純利益は234百万円(前年同四半期比25.2%減)となりましたが、当四半期決算で黒字に転じております。また、このような厳しい経営環境の時ほど、美容室の業績向上に貢献できる当社独自のビジネスモデルが機能していることから、下記のグラフのとおり着実成長の傾向に大きな変化はありません。

売上高

(単位:百万円)



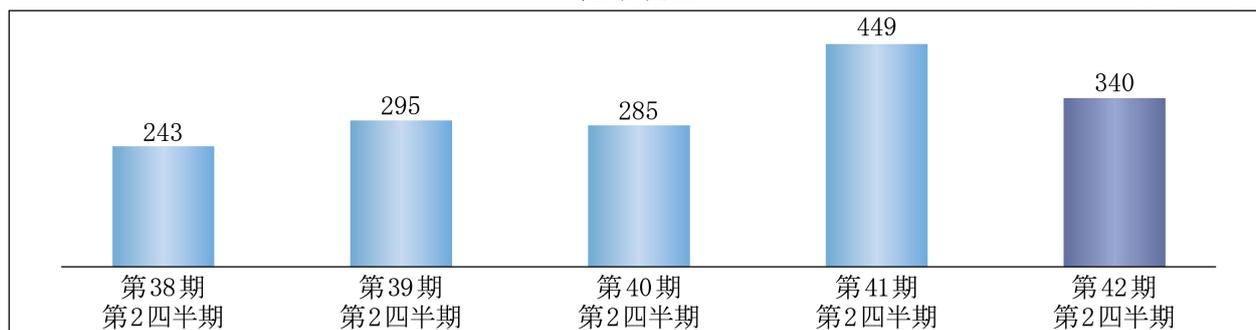
営業利益

(単位:百万円)



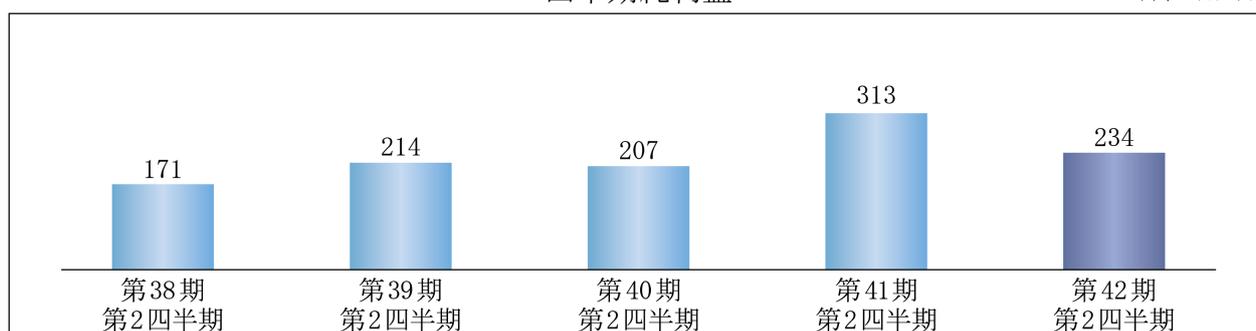
経常利益

(単位:百万円)



四半期純利益

(単位:百万円)



なお、当社は美容室向けの頭髪用化粧品、医薬部外品の製造・販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っておりませんが、売上高の内訳は、以下のとおりであります。

区分	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
トイレットリー	2,351	74.0	2,181	72.2	△169	△7.2
整髪料	459	14.5	512	17.0	53	11.6
カラー剤	146	4.6	137	4.5	△9	△6.4
育毛剤	95	3.0	102	3.4	6	6.3
パーマ剤	61	1.9	52	1.8	△8	△14.1
その他	63	2.0	34	1.1	△29	△46.1
合計	3,177	100.0	3,019	100.0	△157	△5.0

当社では、「美容室の繁栄が当社の繁栄につながる」という基本的な考え方のもと、具体的な戦略として、美容室の経営改善システムである「旬報店システム」を軸とした美容室の経営コンサルティング（コンサルティング・セールス）を展開し、トイレットリー（シャンプー、トリートメント等）の販売を中心とした「店販」を戦術として、成長・繁栄につながるさまざまな提案を美容室に行っております。

そのため売上高に占めるトイレットリーの割合は70%程度となっており、同業他社に比べ高いことが特徴であります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期会計期間の総資産は、前事業年度から761百万円減少し、9,594百万円となりました。

主な要因としては、土地が194百万円、商品及び製品が174百万円増加し、現金及び預金が737百万円、受取手形及び売掛金が387百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間の負債は、前事業年度から667百万円減少し、1,944百万円となりました。

主な要因としては、未払金が470百万円、未払法人税等が222百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間の純資産は、前事業年度から93百万円減少し、7,650百万円となりました。

主な要因としては、利益剰余金が87百万円減少したことによるものであります。なお、自己資本比率は、79.7%(前事業年度74.8%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末より737百万円減少し、1,691百万円(前年同四半期比74百万円減)となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は、163百万円(前年同四半期は108百万円の増加)となりました。

収入の主な要因としては、税引前四半期純利益340百万円及び売上債権の減少387百万円であり、支出の主な要因としては、たな卸資産の増加178百万円、法人税等の支払いによる支出331百万円及びその他の支出583百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、245百万円(前年同四半期は37百万円の減少)となりました。

支出の主な要因としては、有形固定資産の取得による支出190百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、328百万円(前年同四半期は297百万円の減少)となりました。

支出の主な要因としては、配当金の支払いによる支出321百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は営業戦略上、利益の構成比率は下半期のウエイトが大きく、第2四半期累計期間における利益額の構成比率は小さくなっており、その減益額は小さいものと判断しております。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けて発せられた緊急事態宣言の影響により、一部の美容室で営業の自粛、来店客数の大幅減等を余儀なくされ、当社の業績にも一定程度の影響がありましたが、解除後は来店客数等も前年並みに戻りつつあり、店販戦略の主力である「コタ アイ ケア」の販売は堅調に推移しております。

第3四半期以降につきましては、引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大の可能性もあり、先行きは不透明な状況であるものの、美容業界の繁忙期と重なることに加え、11月から12月にかけて当社製品の販売コンクールである「コタ全国店販コンクール」を開催しており、「コタ アイ ケア」を中心としたトイレタリーの需要増加等、今後も順調に推移すると見込んでおります。

以上のことから、現時点において、2020年5月8日に公表いたしました通期の業績予想から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,929,513	4,191,847
受取手形及び売掛金	1,203,262	815,642
有価証券	100,000	150,000
商品及び製品	634,047	808,234
仕掛品	27,944	33,148
原材料及び貯蔵品	281,875	280,765
その他	53,028	49,603
貸倒引当金	△30	△34
流動資産合計	7,229,641	6,329,207
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,035,408	1,007,479
土地	1,158,906	1,353,039
その他(純額)	113,533	104,853
有形固定資産合計	2,307,848	2,465,373
無形固定資産	104,133	78,071
投資その他の資産	714,600	721,799
固定資産合計	3,126,582	3,265,244
資産合計	10,356,224	9,594,451
負債の部		
流動負債		
買掛金	153,862	159,200
未払金	540,335	70,259
未払法人税等	357,820	134,951
賞与引当金	232,313	241,967
役員賞与引当金	—	10,780
販売奨励引当金	46,559	139,975
その他	322,856	233,255
流動負債合計	1,653,747	990,389
固定負債		
退職給付引当金	183,111	212,493
役員退職慰労引当金	584,728	557,874
資産除去債務	48,523	48,575
長期預り保証金	141,723	134,723
固定負債合計	958,086	953,665
負債合計	2,611,834	1,944,055
純資産の部		
株主資本		
資本金	387,800	387,800
資本剰余金	330,888	330,977
利益剰余金	9,299,588	9,212,215
自己株式	△2,274,959	△2,281,726
株主資本合計	7,743,316	7,649,266
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,073	1,129
評価・換算差額等合計	1,073	1,129
純資産合計	7,744,389	7,650,395
負債純資産合計	10,356,224	9,594,451

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	3,177,563	3,019,913
売上原価	789,041	741,530
売上総利益	2,388,522	2,278,382
販売費及び一般管理費	1,950,596	1,949,302
営業利益	437,925	329,080
営業外収益		
受取利息	1,567	1,725
受取配当金	819	613
受取賃貸料	3,075	2,884
業務受託料	4,800	4,800
その他	2,839	2,126
営業外収益合計	13,100	12,149
営業外費用		
賃貸費用	602	734
その他	732	139
営業外費用合計	1,334	873
経常利益	449,691	340,356
税引前四半期純利益	449,691	340,356
法人税、住民税及び事業税	181,025	115,003
法人税等調整額	△45,289	△9,572
法人税等合計	135,736	105,430
四半期純利益	313,954	234,926

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	449,691	340,356
減価償却費	99,877	80,530
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5	3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	14,380	9,653
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	13,646	10,780
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	29,881	29,382
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	30,518	△26,854
その他の引当金の増減額 (△は減少)	105,484	93,415
受取利息及び受取配当金	△2,386	△2,338
売上債権の増減額 (△は増加)	465,676	387,620
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△255,264	△178,281
仕入債務の増減額 (△は減少)	13,589	5,337
その他	△477,236	△583,014
小計	487,852	166,591
利息及び配当金の受取額	1,332	1,076
法人税等の支払額	△381,075	△331,553
営業活動によるキャッシュ・フロー	108,108	△163,885
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△31,684	△190,545
無形固定資産の取得による支出	△4,500	△3,440
投資有価証券の売却による収入	9,450	—
投資有価証券の取得による支出	—	△50,000
その他	△10,775	△1,794
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,509	△245,780
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△5,098	△6,954
自己株式の売却による収入	111	276
配当金の支払額	△292,108	△321,322
財務活動によるキャッシュ・フロー	△297,095	△328,000
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△226,495	△737,666
現金及び現金同等物の期首残高	1,992,698	2,429,513
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,766,202	1,691,847

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社は美容室向け頭髪用化粧品、医薬部外品の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。